



株式会社CSIソリューションズ

株式会社CSIソリューションズ

東京都新宿区西新宿6-8-1
住友不動産新宿オークタワー19F
www.csi.co.jp/

「CompTIA認定資格の導入のメリットは、バランスよく知識をつけられる点にあると思います。特定のベンダー技術に強くなっても、移り変わりの激しい業界での生き残りには必ずしも繋がりません。IT業界に入って長く活躍し続ける為にもバランス良い知識の土台が必要で、CompTIAは技術者の体幹作り、バランスよい知識基盤として、当社に大きく貢献してくれるものと確信しています。」

技術本部
本部長 北村 雅樹 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Cloud Essentials
- CompTIA Network+
- CompTIA Security+

CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

技術人材ピラミッドの拡大と10年続く組織体制を築くため 技術者の「体幹」を強化

全技術者にCompTIA認定資格の取得を必須化

取得対象者

システム基盤に関係する全技術者（設計～構築～運用まで）

取り組みの背景

株式会社CSIソリューションズは、「夢あるシステム基盤を、お客様と共に創る」をスローガンにおき、取り組みの中核を担う技術本部では、お客様の業績・利益の向上を図るために、以下の役割を担います。

- お客様に安全で安心して使えるシステム基盤の設計・構築と、その運用サービスの提供
- お客様の思いの一步先、一つ先の未来を実現するための、磨き続けられたスキルと継続的な対話
- お客様に次もその次もCSIと一緒にやっていきたい、と思って頂く丁寧な仕事の遂行

T型人材の育成

技術人材のピラミッドを拡大し、10年続く組織体制を築くために、一つの分野にのみ秀でた「I型人材」から、それ以外の多様分野にも幅広い知識を持つ「T型人材」を育成していくことが急務であると考え、今後数年トレンドに左右されないネットワーク、セキュリティ、クラウドといった基盤技術を重点習得技術としてピックアップ。全技術者に対し CompTIA認定資格の取得を義務化することを決めました。

CompTIA認定資格を全ての技術者に取得を必須化



CompTIA Cloud Essentialsは、ビジネス、または技術的側面から見たクラウドコンピューティングの意義やクラウドの導入によるメリット/デメリットを判断し運用できる知識とスキルを証明する認定資格。



CompTIA Network+は、ネットワーク技術に携わる職種において、実務上共通して必須となるネットワークの構成、運用、トラブルシューティング等のスキル、さらにセキュリティに関連するスキルを評価する認定資格。



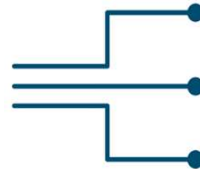
CompTIA Security+は、セキュリティ概念、脅威や脆弱性、ツール、対応手順に関連するスキルや、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的に実施されるべき運用手順等のスキルを評価する認定資格。

取り組み

T型人材になるための強固な「体幹」作りから、それぞれの専門性へ

→ 重点技術における「属人化の防止」と「顧客接点の増加」「業務品質管理」から専門性を提供

CompTIA Cloud Essentials
CompTIA Network+
CompTIA Security+



AWS Azure対応技術者の強化
IBM Power Linux対応技術者の強化
Cybozu kintone対応技術者の強化
など

- 上記3認定資格を2年間で技術者全員の取得を目指す
- MBO（目標管理）を採用し、上長との面談で確認を徹底

AWS, VMware等他ベンダー資格の取得や、RPA等の利用

「運用保守部門には、様々なシステム基盤の設計・構築・運用経験を経た人材が集まっていますが、参加プロジェクトの内容、経験年数により個人の実務遂行能力は大きくばらつきがあります。実務上は幅広く多面的な要素技術が必要な局面が多いのですが、属人化・品質のばらつきが長年の課題となっていました。このたびCompTIA資格取得により運用技術者の汎用・具体的な業務能力（体幹）を強化することを主眼においてその課題を解決したいと考えています。技術本部全体で個人の目標設定に落とすと共に、運用保守部門ではタスクチームが主体となって資格取得の推進並びに体幹強化のベストプラクティスを確立することを目標にすることで、中長期的な人材育成へ永続的に取り組んでいきたいと思っております。」

技術本部 運用保守部
課長 加藤 健児 様